



---

# COVID-19 が演劇に及ぼした影響

---

## 簡略版



2022-01-31

TNS028 しもしも

## 概要

日本の演劇業界に対して COVID-19 が及ぼした影響を調査し、今後の演劇を振興するための方法を提言する。COVID-19 の流行に伴う外出自粛や規制強化などによって、演劇業界は多大なる影響を受けた。世の中が変化するとともに、演劇業界も適応策を講じてきた。

# 目次

1. COVID-19 と演劇市場
  - 1.1 調査範囲
  - 1.2 市場規模の縮小
  - 1.3 集団感染のリスク
2. 変化した世の中への適応策
  - 2.1 観劇の形態
  - 2.2 過去作品の配信
  - 2.3 プロモーション方法
3. オンライン配信の現状
  - 3.1 利点
  - 3.2 欠点
  - 3.3 有料オンライン配信の需要
4. 演劇の振興に向けての提言
  - 4.1 観客参加型演劇の上演
  - 4.2 ハイブリッド上演の推進

謝辞

参考文献

付録 1 「新しい観劇様式についてのアンケート」調査方法

付録 2 「文化に関する世論調査」調査方法

# 1. COVID-19 と演劇市場

COVID-19 の流行によって、演劇市場に様々な問題が発生した。本論文で取り上げるのは、市場規模の縮小 (1.2) と集団感染のリスク (1.3) である。

## 1.1 調査範囲

この論文では、日本国内の演劇市場を対象に調査を行った。海外における演劇市場や、下記の分野は除く。

- ・ 歌舞伎
- ・ 能・狂言

## 1.2 市場規模の縮小

演劇の市場規模は、2013 年から 2019 年まで年々拡大を続けていた [53]。2013 年から 2020 年までの市場規模を示したのが、図 1 である。2019 年の市場規模が 2013 年の約 1.55 倍に拡大していることから、演劇の人气が年々高まっていたと考えられる。

しかし、2020 年 2 月下旬から日本でも流行し始めた COVID-19 によって、市場規模は 2019 年の約 3 割にまで縮小してしまった。感染症拡大防止のため、公演中止や規模の縮小を余儀なくされたのだ [53]。

もし、2013 年から 2019 年までと同様に成長を続けていた場合、2020 年の市場規模は 1350 億円まで拡大していたと推定できる。しかし、2020 年の実績値は 378 億円であった。COVID-19 流行の影響は、非常に甚大であるといえるだろう。

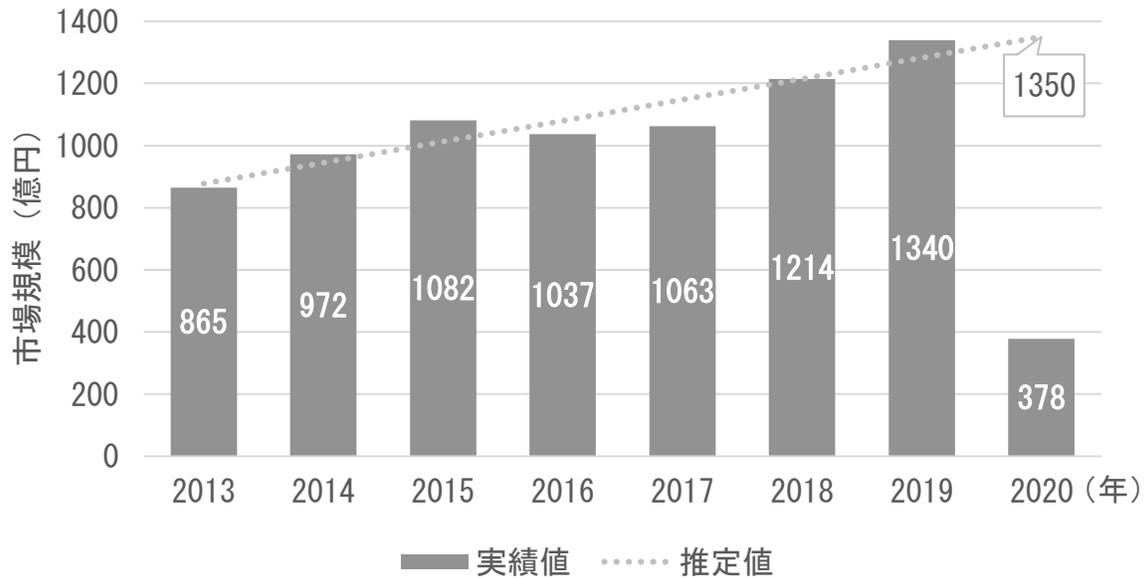


図1： 演劇の市場規模 （[46][53][54]を参考に作成）

〔注〕各年度の実績値は、下記の方法で求めた。なお、小数点以下は四捨五入した。

2013年～2017年： 各年度のステージ市場規模×63.1%

2018年～2020年： 各年度のステージ市場規模×各年度における演劇の割合

### 1.3 集団感染発生リスク

演劇市場においても、集団感染発生リスクはある。これまでに演劇関連で実際に発生した集団感染を、表1にまとめた。感染人数の欄に◎印が付いている公演は、観客の感染が確認された公演である。◎印がない公演は、感染者が公演関係者に限られている。

この中で特筆すべきなのは、新宿シアターモリエールで発生した集団感染である。ガイドラインから逸脱したことによって、演劇関係者の怒りを買った [23]。集団感染発生に寄与した可能性がある点は、下記のとおりである [23]。

- ・ 演者の中に体調不良者がいたにもかかわらず、公演を続行した。

どの問題点も、ガイドラインに則して安全を第一に考えていれば起こらなかったはずだ。したがって、新宿シアターモリエールにおける集団感染は防止できたと考えられる。

しかし、万全だと思われる対策をしても、集団感染が発生することはある。埼玉県さいたま市のミュージカル座稽古場で発生した集団感染は、まさにその例だ。

表1 演劇関連の集団感染例				
発生月	発生場所	劇団名	感染人数	文献
2020年 7月	新宿シアターモリエール (東京都新宿区)	(株)ライズコミュニケーション主催	◎75人	[34]
2020年 8月	宝塚大劇場 (兵庫県宝塚市)	宝塚歌劇団 花組	13人	[29]
2020年 10月	当該劇団の稽古場 (埼玉県さいたま市)	ミュージカル座	76人	[21]
2020年 11月	非公表 (兵庫県神戸市)	非公表	8人	[20]
2021年 1月	弁天座 (奈良県大和高田市)	劇団菊太郎	◎24人	[13]
2021年 5月	非公表 (愛知県名古屋市)	非公表	◎26人	[26]
2021年 5月	きつき衆楽観 (大分県杵築市)	非公表	◎14人	[11][12]
2021年 6月	博多新劇座 (福岡県福岡市)	非公表	12人	[39]
2021年 8月	秋田市文化会館 (秋田県秋田市)	地域活性化芸能団体主催	12人	[27][43]

## 2. 変化した世の中への適応策

COVID-19 の流行によって大きく変化した世の中に伴って、演劇業界も変化を遂げた。この論文では、演劇業界の変化を観劇の形態 (2.1)、過去作品の配信 (2.2)、プロモーション方法 (2.3) という 3 つの観点から比較する。

### 2.1 観劇の形態

COVID-19 の流行によって、観劇場所が劇場からオンラインへと変化した。COVID-19 流行以前は、劇場だけで上演するのが一般的だった [19]。しかし、感染リスクが高まるとされる密閉空間である劇場を不安視する声も相まって、劇場での公演は困難になってしまった。

劇場で公演ができないならば、オンラインに頼るしかない。そこで、稽古場所も上演場所もオンラインという新しい演劇が誕生した [19]。

最初に発出された緊急事態宣言が解除された 2020 年 6 月からは、劇場で上演しつつ、それをオンラインで配信するという形態が始まった [19]。この形態は、ハイブリッド上演とも呼ばれている。

2020 年 7 月に PARCO 劇場で上演された『大地 (Social Distancing Version)』では、劇場に観客を入れた上でのハイブリッド上演が行われた。興行側にとっては収益をより多く獲得できるという利点があるほか、観客にとっては観劇形態が選択できるという利点がある。

### 2.2 過去作品の配信

過去の作品が配信されるようになったきっかけも、COVID-19 の流行である。COVID-19 が流行する前は、多くの記録映像が撮ったままの死蔵状態だった [8]。そこで立ち上がったのが、「緊急舞台芸術アーカイブ+デジタルシアター化支援事業 (EPAD)」である [51]。

EPAD でデジタルアーカイブ化された舞台映像は、早稲田大学演劇博物館が開設した「Japan Digital Theatre Archives (JDTA)」で情報検索することができる [52]。同じく戯曲は、一般社団法人日本劇作家協会が企画制作を担う「戯曲デジタルアー

カイクス」で無料閲覧することができる [28]。COVID-19 の流行は、演劇業界のデジタル化という好影響ももたらしたようだ。

EPAD の主体となったのは、寺田倉庫株式会社と緊急事態舞台芸術ネットワークである [51]。

EPAD は、文化庁の令和 2 年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」に採択された [48]。国としても、演劇業界のデジタル化を推進したいことが窺える。

### 2.3 プロモーション方法

演劇のプロモーション方法も変わりつつある。COVID-19 流行前は主催公演ごとにチラシを制作し、印刷を行っていた [9]。しかし、COVID-19 が蔓延している社会には適していない。

このような状況を踏まえ、公演情報は SNS で発信し、チラシの印刷は最低限に抑える劇場や劇団が出現した [9]。現在の不安定な情勢下においては、チラシよりも SNS の方が優れているといえる。

さらに、チラシの廃止は紙の削減にもなる。チラシ廃止に伴う紙の削減効果は非常に大きい。今後、チラシを廃止する団体がさらに増加するのではないだろうか。

### 3. オンライン配信の現状

演劇のオンライン配信が始まってから約2年が経過し、その利点や欠点などが明らかになった。オンライン配信を実際に視聴した人々の意見を取り入れながら、オンライン配信の現状についてまとめる。

#### 3.1 利点

実際にオンライン配信を視聴した観客からは、下記の利点があるという声が聞かれた。これらは、「新しい観劇様式についてのアンケート」の自由記述欄に書かれた意見である（付録1参照）[14]。

- ・ 劇場に行けない人でも観ることができる。

これらの意見を加味し、オンライン配信の利点を以下の4つにまとめた。

##### (1) 制約が少ない

劇場で観劇する時よりも、制約が少ないことが利点であると考えられる。劇場での観劇には、様々な制約が伴う。

##### (2) 座席位置の影響がない

座席の善し悪しに左右されないことが利点だという意見も挙がっている [5]。観やすいかどうかを観劇直前まで危惧する必要がなくなった。

##### (3) 総費用が少ない

劇場での観劇時よりもチケット代が安価であることに加えて、観劇にかかる総費用でも利点があると考えられる。観劇にかかる総費用を抑えるなら、オンライン配信での観劇の方が適している。

#### (4) 収益の上限がない

劇団や劇場にとっては、得られる収益に限りがない点が最大の利点であると考えられる。オンライン配信だからこそその収益の仕組みが、利点になっていると考える。

### 3.2 欠点

劇場での観劇に劣る部分もある。オンライン配信視聴者からは、以下のような意見が挙げられている。

- ・ 画面が固まったり、音声途切れたりする通信トラブルがある。

上記の意見を踏まえて、オンライン配信の欠点を以下の3点にまとめた。

#### (1) 劇場ならではの魅力の喪失

劇場での観劇時に魅力であった部分が喪失し、そこが欠点になっている。観劇を趣味とする人にとっては大きな減点要素だろう。

さらに、臨場感に欠けることも、オンライン配信の欠点であるようだ [5]。「劇場で観る演劇には敵わない」といわれる所以は、臨場感の喪失にもあるだろう。

#### (2) 双方向型コミュニケーションが困難

筆者は、演者と観客との双方向型コミュニケーションが困難であることも欠点であると考えられる。演者と観客との双方向でコミュニケーションを取りたいのであれば、劇場の方が向いているといえる。

#### (3) 観客の空気感が把握できない

劇団や劇場からみた欠点としては、観客の空気感が把握できないことが挙げられると考える。観客の満足度にも関わる大きな欠点であると考えられる。

### 3.3 有料オンライン配信の需要

有料オンライン配信が世の中に定着し始めたとはいえ、その需要は未だに少ない。しかし、今後は需要が伸びる可能性がある。その理由を、図 2 を用いて説明する。

図 2 は、有料オンライン配信で重視するポイントについての答えを集計したグラフである。調査対象者の 53.8%は既存顧客または見込み顧客であり、2021 年 2 月時点で「有料オンライン配信の視聴経験がある」と答えた 27.7%をはるかに上回っている。見込み顧客に対してのアプローチが成功すれば、需要の増大が期待できるということだ。

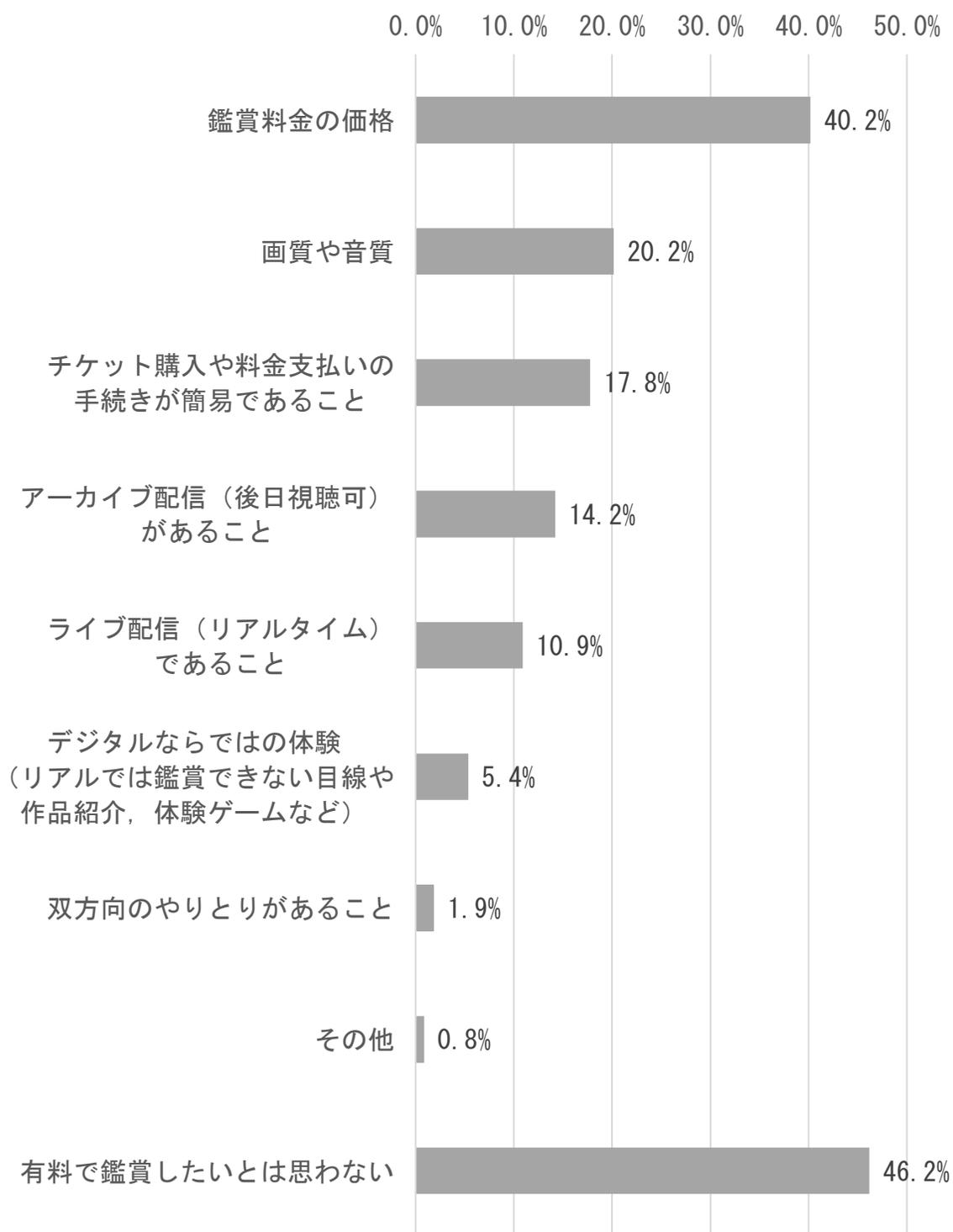


図2： 有料オンライン配信での重視点 （[41]を参考に作成）

（注）複数回答可。ジャンルの指定はない。

## 4. 演劇の振興に向けての提言

今後、演劇を再度振興するためには、観客参加型演劇の上演（4.1）とハイブリッド上演の推進（4.2）が有効だと考える。

### 4.1 観客参加型演劇の上演

観客参加型の演劇を上演することによって、観客の満足度が向上すると考える。COVID-19が蔓延している情勢では、直接触れずとも演者と観客との一体感を生み出すことが重要だ。

ここで、実際に行われた観客参加型演劇を紹介する。それが、2021年8月～9月に上演された宮藤官九郎作・演出『愛が世界を救います（ただし屁が出ます）』である [25]。劇団の大小を問わず、このような工夫を凝らした観客参加型演劇を上演することが必要だと考える。

また、観客参加型演劇の上演は、COVID-19の流行が落ち着いた後でも有効だと考える。コト消費の次に「トキ消費」が活発になるといわれているからだ [17]。トキ消費が活発になるのならば、演劇もその潮流に乗るべきだ。

### 4.2 ハイブリッド上演の推進

観劇者の裾野を広げるために、業界としてハイブリッド上演を推進すべきだと考える。劇場で観ることができない人にも、オンライン配信を用いてアプローチすべきだ。劇場での上演とオンライン配信との両方を行うことによって、様々な人にアプローチすることができ、観劇者が増加すると考える。

また、ハイブリッド上演を行い、今までより多くの収益を獲得する必要があると考える。今後、上演費用が増加する可能性があるからだ。

現在、小劇場で演劇を行う場合の予算は180万円～300万円だといわれている [4]。今まで以上に費用がかかるということは、今まで以上に収益が必要だ。ハイブリッド上演の費用対効果を考慮する必要はあるが、より多くの利益を獲得するためにはハイブリッド上演が必要だと考える。

しかし、ハイブリッド上演でより多くの収益を獲得するには、オンライン配信自体の魅力を向上させる必要があると考える。今のままでは、演劇ファンがオンライン配信を観ない可能性が高いからである。

そこで、筆者は演劇ファンに向けたオンライン限定コンテンツの配信が必要だと考える。オンライン配信を上手く活用し、より多くの収益を獲得したいところだ。

## 謝辞

論文の書き方から内容まで、終始丁寧なご指導を頂いた西村和夫教授に厚く御礼申し上げます。こゆっきーさん、つるさん、オムラさんには、私がもっていなかった視点から助言をしていただきました。皆様のご支援があってこそ、本論文を書き上げることができました。誠にありがとうございました。

## 参考文献

- [1] 新屋絵理,「劇団活動は労働」願い届いた 賃金求めた元団員勝訴 夜通し作業、1カ月無休…、朝日新聞（朝刊）、2020-10-20, p. 28.
- [2] 井上秀樹, 無観客公演を有料ライブ配信, 朝日新聞（夕刊）, 2020-06-11, p. 2.
- [3] 大平明日香, 新型コロナ 劇団クラスター、対策限界 やれることやったのになぜ…マスク着用、消毒も徹底, 毎日新聞（東京夕刊）, 2020-10-26, p. 7.
- [5] 草島叶実, オンライン演劇のメリット、デメリット。生の舞台で観る演劇と比較をしてみた, note, note 株式会社, 2020-05-31, 2021-11-20 最終閲覧.  
[https://note.com/kanami\\_kusajima/n/n8ce2c913275a](https://note.com/kanami_kusajima/n/n8ce2c913275a)
- [6] 小玉沙織, 2.5次元ミュージカル 劇画さながら、役者鍛える, 毎日新聞（東京夕刊）, 2018-05-22, p. 4.
- [7] 小林宏行, ライブ・エンタメ業界、コロナ下デジタルシフトー配信・変動価格に商機、「リアル代替」以上示せるか。、日経 MJ, 2021-03-31, p. 3.
- [8] 瀬川奈都子, 舞台のネット配信に光明、知財弁護士らアーカイブに尽力。、日本経済新聞（朝刊）, 2021-04-19, p. 13.
- [9] 瀬崎久見子ほか, 紙のチラシ、必要ですか？ー舞台裏デジタル改革の転機, 日本経済新聞（朝刊）, 2021-04-08, p. 40.
- [10] 瀬崎久見子ほか, ネット用いた「ウィズ配信」の時代ー収支バランスの模索続く, 日本経済新聞（夕刊）, 2020-07-14, p. 10.
- [11] 津島史人, 新型コロナ 新たに36人感染 由布の事業所でクラスター, 毎日新聞（地方版／大分）, 2021-05-26, p. 19.
- [12] 津島史人, 新型コロナ 新たに44人感染確認 杵築で劇団員のクラスター, 毎日新聞（地方版／大分）, 2021-05-21, p. 19.
- [13] 戸毛・増井, 県内における新型コロナウイルス感染症クラスター事案の発生について（最終報）, 奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課, 奈良県, 2021-02-08 作成, 2021-12-19 最終閲覧.  
<https://www.pref.nara.jp/secure/242911/0208cluster.pdf>
- [14] 中本千晶, オンライン配信、そして「オンライン演劇」、実際どう？ 演劇ファンの複雑な胸中, Yahoo!ニュース, ヤフー株式会社, 2021-11-21 最終閲覧.

- <https://news.yahoo.co.jp/byline/nakamotochiaki/20201224-00213642>
- [15] 中本千晶, 観客参加演出、宮藤官九郎の発想—コロナ禍、制約吹き飛ばす, 日経 MJ, 2021-09-10, p. 4.
- [16] 中本千晶, コロナ禍で観劇スタイル変わった? アンケート調査からわかった演劇ファンの本音, Yahoo!ニュース, ヤフー株式会社, 2021-12-18 最終閲覧.  
<https://news.yahoo.co.jp/byline/nakamotochiaki/20201223-00213324>
- [17] 夏山明美, モノ、コトに続く潮流、「トキ消費」はどうなっていくのか, The Central Dot magazine, 株式会社博報堂, 2020-10-22, 2021-10-31 最終閲覧.  
<https://www.hakuhodo.co.jp/magazine/85508/>
- [18] 西村まさ彦, リモート劇、驚く臨場感, 朝日新聞 (朝刊), 2020-06-06, p. 20.
- [20] 初鹿野俊, 公演中の劇団員 8 人感染、観客 600 人検査なし大丈夫? 市は劇場名公表せず, 神戸新聞 NEXT, 株式会社神戸新聞社, 2020-11-14 作成, 2021-12-19 最終閲覧.  
<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202011/0013864332.shtml>
- [21] ハマナカトオル, お詫び, 「ひめゆり」新型コロナウイルス感染拡大のお詫び, 有限会社ミュージカル座, 2020-11-02 作成, 2021-12-19 最終閲覧.  
<https://musical-za.co.jp/oshirase201102.html>
- [22] 本多慎一郎, 加盟劇場の感染者発生について, 小劇場協議会, 2020-07-14, 2022-01-31 最終閲覧. <https://jipta.jp/?p=60>
- [23] 道丸摩耶, 対策に甘さ 新宿の劇場クラスターに「厳しい検証」求める演劇関係者, SankeiBiz, 株式会社産経デジタル, 2020-07-18 作成, 2021-12-18 最終閲覧.  
<https://www.sankeibiz.jp/workstyle/news/200718/cpd2007180855001-n1.htm>
- [24] 横川良明, 俳優・宮崎秋人が語る演劇の魅力「あんなに感情をグチャグチャにされたのは生まれて初めて」, 女の転職 type, 株式会社キャリアデザインセンター, 2017-12-07 作成, 2021-11-21 最終閲覧.  
<https://woman-type.jp/wt/feature/8570/>
- [25] —, 愛が世界を救います (ただし屁が出ます), PARCO STAGE, 株式会社パルコ, 2021-11-23 最終閲覧. <https://stage.parco.jp/program/majirock/>

- [26] —, 演者ら 26 人に拡大も…劇場で発生のクラスター「距離が十分」と客の調査せず 名古屋で新規感染者 255 人, ニュース One, 東海テレビ放送株式会社, 2021-05-21 作成, 2021-12-19 最終閲覧.  
[https://www.tokai-tv.com/tokainews/article\\_20210521\\_173435](https://www.tokai-tv.com/tokainews/article_20210521_173435)
- [28] —, 戯曲デジタルアーカイブとは, 戯曲デジタルアーカイブ, 一般社団法人日本劇作家協会, 2021-02-28 公開, 2021-10-31 最終閲覧.  
<https://playtextdigitalarchive.com/about>
- [29] —, クラスター発生の宝塚花組公演 9 月 3 日から再開, 日刊スポーツ, 株式会社日刊スポーツ新聞社, 2020-08-27 作成, 2021-12-19 最終閲覧.  
<https://www.nikkansports.com/entertainment/news/202008270000430.html>
- [31] —, 劇場再開、リスク露呈、都内でクラスター、全 1 2 公演で感染、握手やハグ、業界指針逸脱か。., 日本経済新聞 (朝刊), 2020-07-15, p. 35.
- [32] —, <公演中止>『お勢、断行』, 世田谷パブリックシアター, 2021-11-23 最終閲覧. <https://setagaya-pt.jp/performances/osei2020.html>
- [34] —, 事実経緯報告書, 株式会社ライズコミュニケーション, 2020-07-27 公表, 2021-12-19 最終閲覧.  
<https://tsimg.azureedge.net/img/2020/07/70d089c333e3edc6fd2ee9b4295fb-ed2.pdf>
- [35] —, 首相、イベント中止要請、今後 2 週間、スポーツなど。., 日本経済新聞 (夕刊), 2020-02-06, p. 1.
- [37] —, 大地, PARCO STAGE, 株式会社パルコ, 2021-12-18 最終閲覧.  
<https://stage.parco.jp/program/daichi/9811>
- [38] —, 地域別最低賃金の全国一覧, 厚生労働省, 2021-11-23 最終閲覧.  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/minimumchiran/](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/minimumchiran/)
- [39] —, 博多新劇座などクラスター 3 件, 朝日新聞 (朝刊), 2021-06-30, p. 25.
- [40] —, 文化芸術収益力強化事業 (委託事業) の募集, 文化庁, 2021-12-19 最終閲覧. [https://www.bunka.go.jp/shinsei\\_boshu/kobo/92378001.html](https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/92378001.html)

- [42] —, 本多劇場 来月再開 下北沢, 読売新聞 (東京朝刊), 2020-05-21, p. 26.
- [43] —, ミュージカルでクラスター 出演者計12人 県内新たに36人確認, 朝日新聞 (朝刊), 2021-08-22, p. 23.
- [44] —, 門外不出モラトリアム, ノーミーツ, 株式会社 Meets, 2021-10-31 最終閲覧. <https://no.meets.ltd/works/moratorium>
- [45] —, リモート演劇 劇団旗揚げ 小御門優一郎, 読売新聞 (東京夕刊), 2020-07-22, p. 8.
- [46] —, ライブ・エンタテインメント市場、前年比 13.8%増で 6,000 億円に迫る勢い／ぴあ総研が 2018 年調査結果(確定値)を公表, ぴあ総研, ぴあ株式会社, 2019-09-12 公表, 2021-10-31 最終閲覧.  
[https://corporate.pia.jp/news/files/PIAsoken\\_2019summary.pdf](https://corporate.pia.jp/news/files/PIAsoken_2019summary.pdf)
- [47] —, ライブ・エンタテインメント市場がコロナ前の水準に回復するのは、最短で 2023 年 / ぴあ総研が将来推計値を公表, ぴあ総研, ぴあ株式会社, 2021-09-27 公表, 2021-10-31 最終閲覧.  
[https://corporate.pia.jp/news/detail\\_live\\_enta20210928.html](https://corporate.pia.jp/news/detail_live_enta20210928.html)
- [50] —, DISTANCE, 本多劇場, 本多劇場グループ, 2021-12-18 最終閲覧.  
<https://distance1.mystrikingly.com/>
- [51] —, EPAD とは?, EPAD, 緊急舞台芸術アーカイブ+デジタルシアター化支援事業, 2021-11-19 最終閲覧. <https://epad.terrada.co.jp/index.php/epad/>
- [52] —, JDTA について, JDTA, 早稲田大学演劇博物館, 2021-11-23 最終閲覧.  
<https://enpaku-jdta.jp/about>
- [53] —, 2019 年ライブエンタメ市場は 6,000 億円を突破し過去最高を記録するも、コロナ禍の影響は甚大と試算／ぴあ総研が 2019 年調査結果(確定値)を公表, ぴあ総研, ぴあ株式会社, 2020-09-18 公表, 2021-10-31 最終閲覧.  
[https://corporate.pia.jp/news/files/piasouken\\_summary2020.pdf](https://corporate.pia.jp/news/files/piasouken_summary2020.pdf)
- [54] —, 2020 年 1 月～12 月のライブ・エンタテインメント(音楽・ステージ)市場規模は 8 割減 / ぴあ総研が確定値を公表, ぴあ総研, ぴあ株式会社, 2021-05-13 公表, 2021-10-31 最終閲覧.  
[https://corporate.pia.jp/csr/pia-soken/pdf/pia-soken\\_summary202105.pdf](https://corporate.pia.jp/csr/pia-soken/pdf/pia-soken_summary202105.pdf)

## 付録1 「新しい観劇様式についてのアンケート」調査方法

「新しい観劇様式についてのアンケート」は、2020年12月7日から12月13日の7日間にわたって、Twitterを中心としたSNSで回答を集めた[16]。586名の年齢や性別、居住地、COVID-19流行以前の観劇頻度は、図3～図6にまとめた。

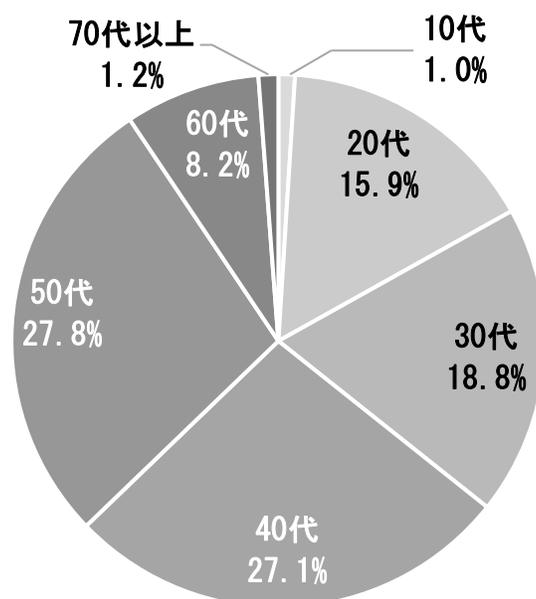


図3： アンケート回答者の年齢 ([16]を参考に筆者作成)

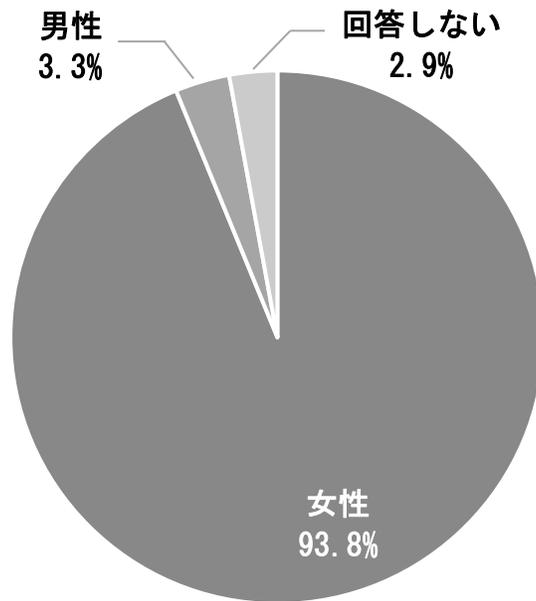


図 4： アンケート回答者の性別 （[16]を参考に筆者作成）

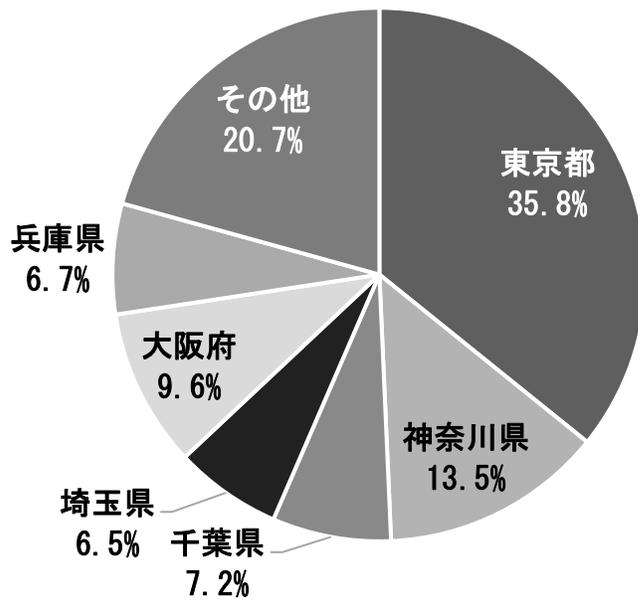


図 5： アンケート回答者の居住地 （[16]を参考に筆者作成）

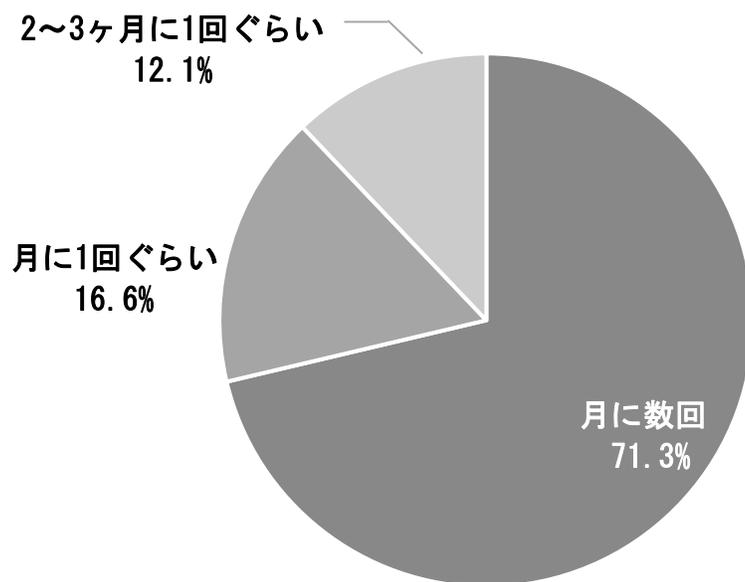


図6： アンケート回答者の観劇頻度（COVID-19 流行以前）  
（[16]を参考に筆者作成）

## 付録2 「文化に関する世論調査」調査方法

「文化に関する世論調査」は、2021年1月29日から2月1日にわたって、ウェブ・パネルを用いて回答を集めた [41]。調査対象は、全国18歳以上の日本国籍を有する者の中から抽出された3,000人である。回答者の年齢や性別、居住地は図7～図9に示す。

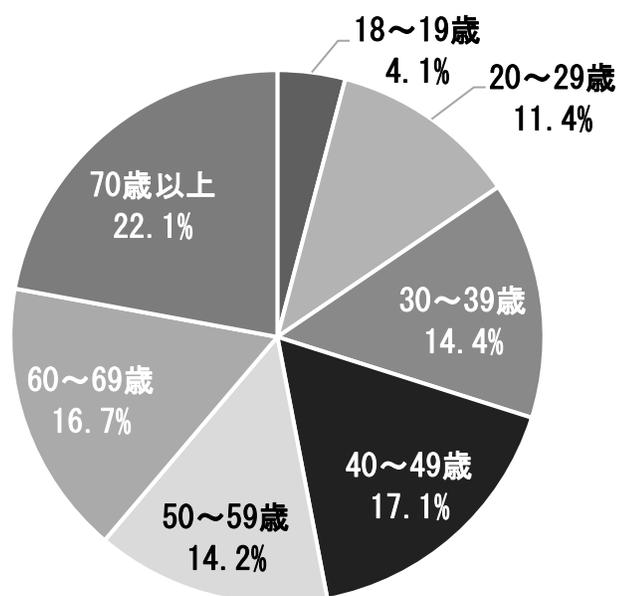


図7：世論調査回答者の年齢（[41]を参考に筆者作成）

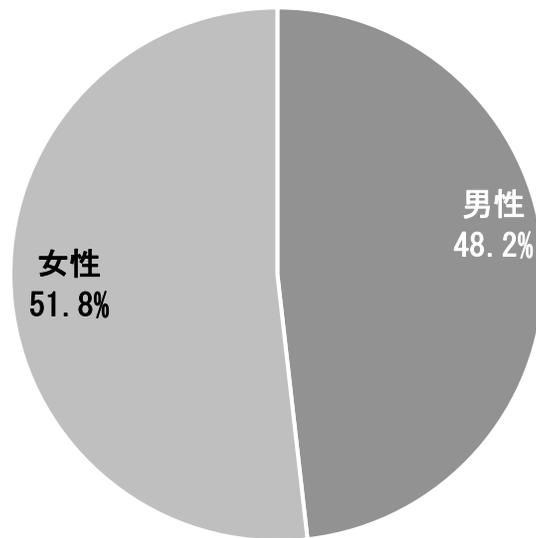


図 8： 世論調査回答者の性別 （[41]を参考に筆者作成）

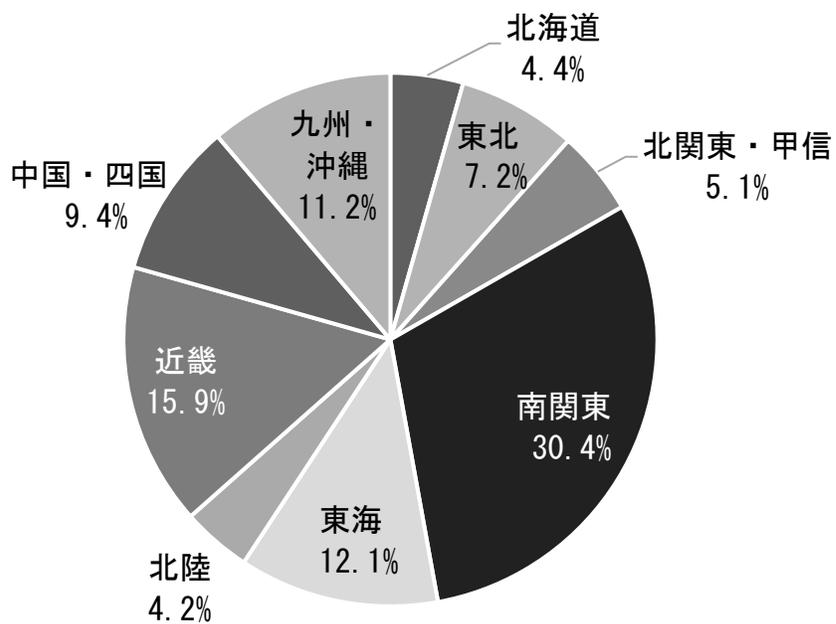


図 9： 世論調査回答者の居住地 （[41]を参考に筆者作成）